

AI Humming Heads

かんたんガイド

目次

2	AIHH を試してみる
5	記録した操作を自動で実行する
6	記録した操作を自動実行メニュー上で編集する
8	記録した操作を CSV 上で編集する
9	変数を使用する
11	画像認識で待機やマウス操作をする
12	外部プログラムで AIHH を呼び出す
13	便利なコマンド一覧①
14	便利なコマンド一覧②
15	AIHH の設定を変更する

AI Humming Heads (AIHH) をインストール頂きましてありがとうございます。AIHH は PC 上で行った操作を記録して、忠実に再生する自動化ツールです。マウスとキーボードを使った操作ならすべて自動化できます。そのため、ルーチンと化した事務作業、ソフトウェアの品質テスト、キッキング、ネットを使った評判調査など、手間がかかり、毎日行う必要があり、正確な作業が求められる業務に効果を発揮します。記録する操作に制限はありませんので、あなたが毎日面倒だと思っている作業を丸投げしてみませんか？

AIHH を使ってみる

1.AIHH を起動する

デスクトップにある「自動実行ツール」のアイコンをダブルクリックすると AI Humming Heads が起動します。

※デスクトップにアイコンがない場合には、AIHH のインストールフォルダ(デフォルトでは C:\ProgramFiles\HummingHeads\AIHummingHeads)にある「CommandViewer.exe」をダブルクリックしてください。

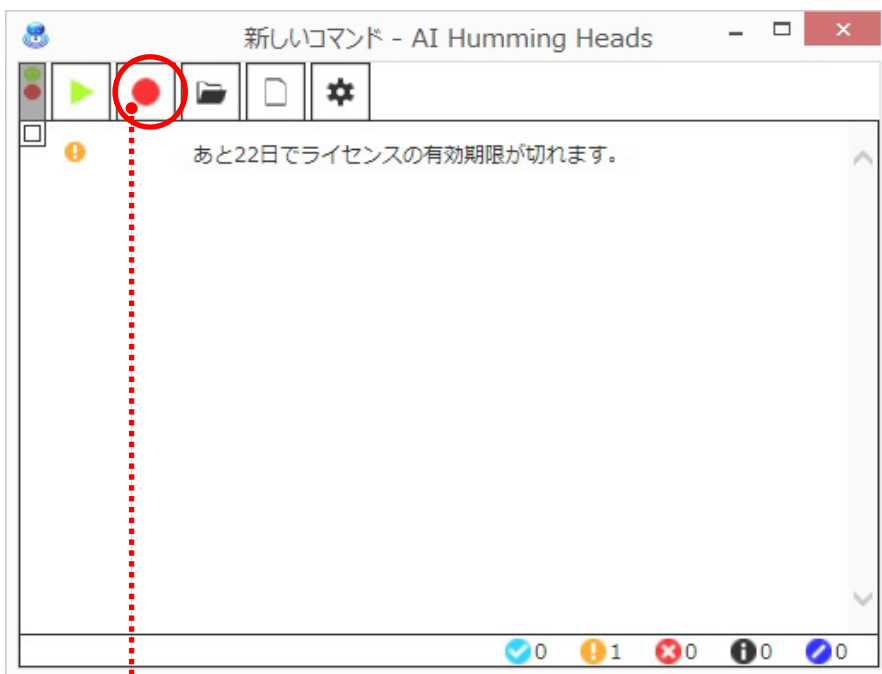


2. 操作を記録する

自動実行ツールを立ち上げると下記のウインドウが表示されます。

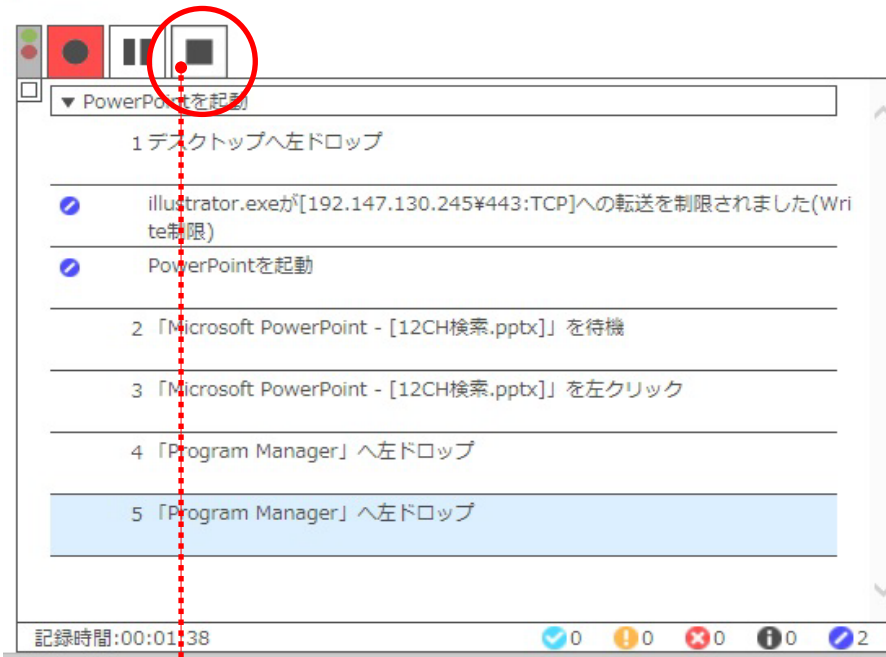


記録ボタンを押すと操作記録を開始します。操作記録を開始してよいか聞かれた場合には [はい] を押すと操作記録を開始します。記録したい操作を行ってください。



[操作記録開始] ボタン

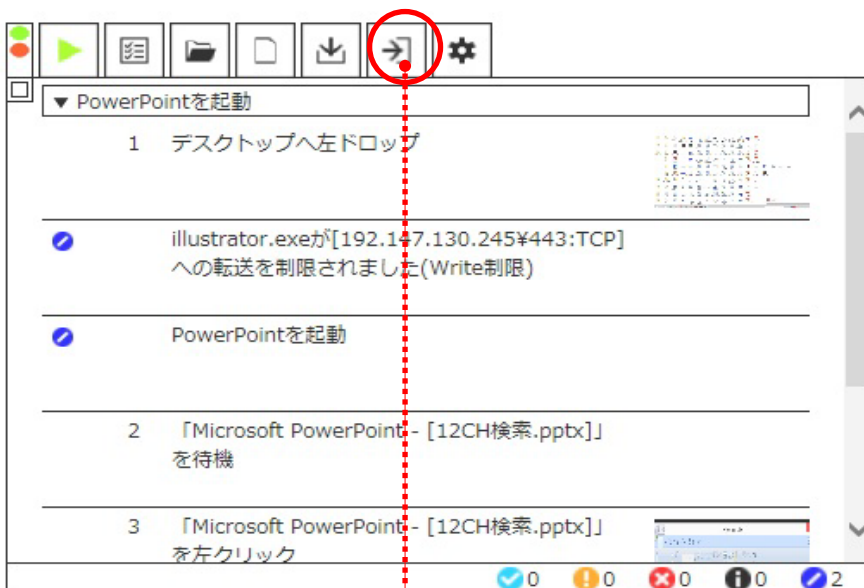
操作を記録中は画面右下に下記のウインドウが表示されます。初期設定では操作に加えてアプリケーションログも記録されていきます。記録したい操作が済みましたら記録停止ボタンを押してください。停止の確認ウインドウが表示される場合は [はい] を選択すると操作の記録が終了します。



記録停止ボタン

再度ウインドウが表示されます。[別名保存] でいま記録した操作を保存します。

※保存先をインストールフォルダにはしないでください。アンインストール時に一緒に削除されてしまいます。



[別名保存] ボタン

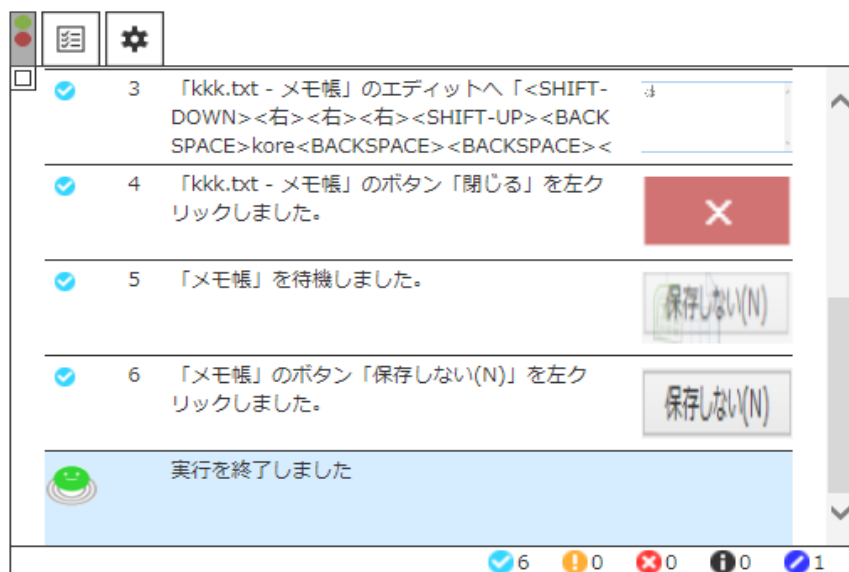
記録した操作を自動で実行する

[自動実行] ボタンを押すと、いま記録した操作を繰り返します。



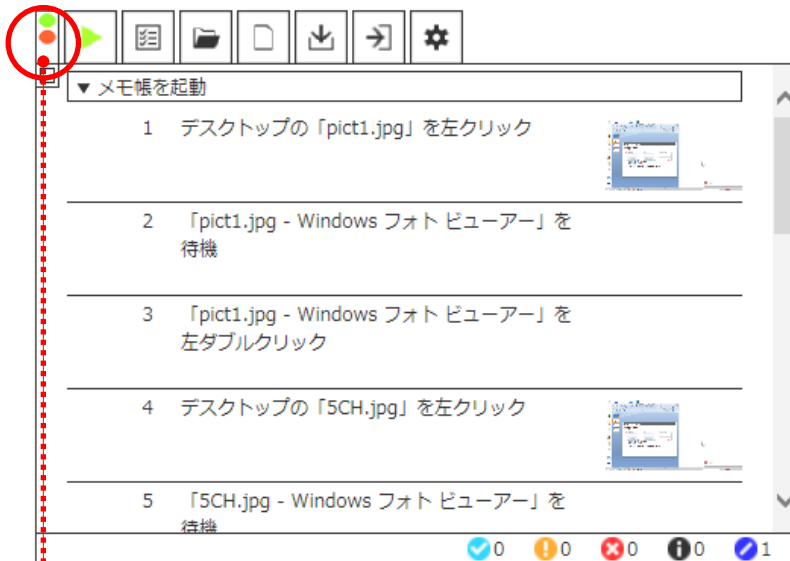
[自動実行] ボタン

実行が終了すると結果が表示されます。それぞれの操作が予定通りに実行されて成功したかがわかります。



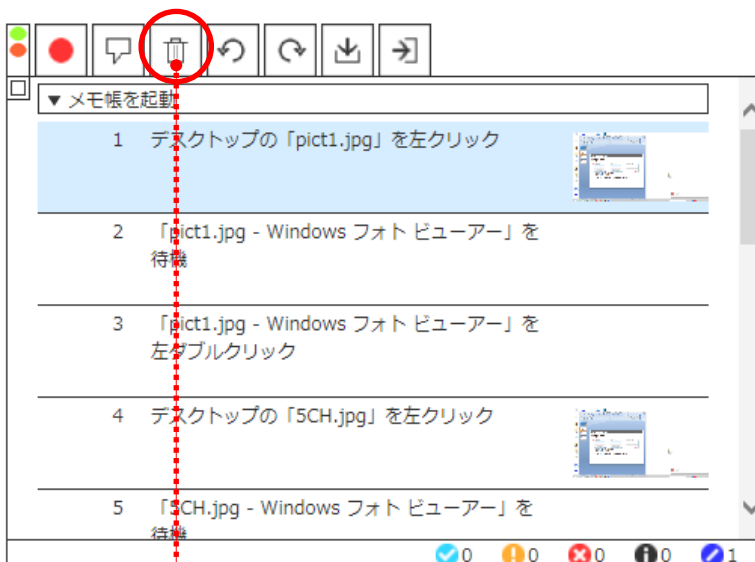
記録した操作を自動実行メニュー上で編集する（コマンドの削除）

コマンドを開いた状態で「メニュー切り替えボタン」を押します。



「メニュー切り替えボタン」ボタン

メニューが変わったら削除したい対象のコマンドを選択して、削除ボタンを押します。コマンドが削除されたら、上書き保存か別名保存してください。



「削除」ボタン

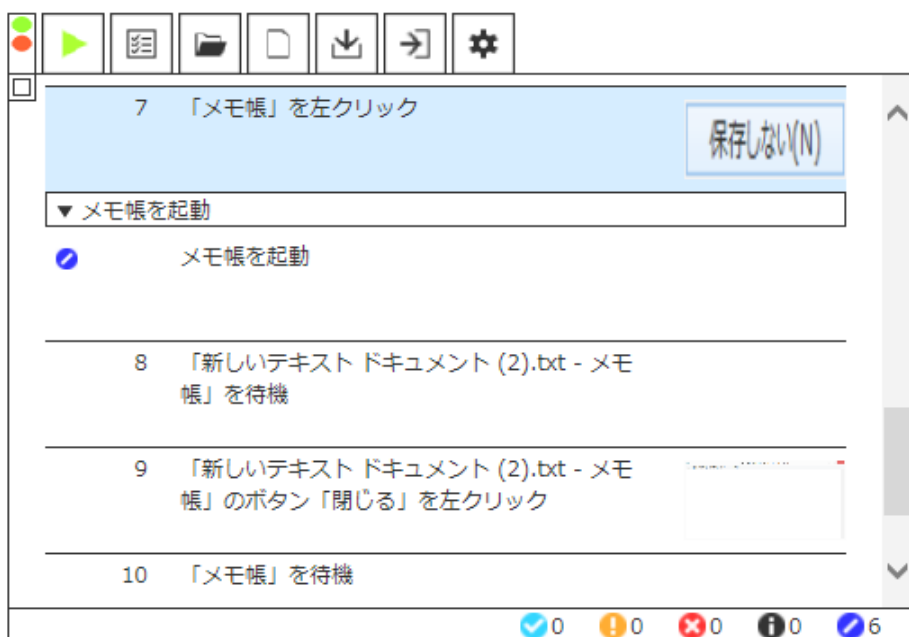
記録した操作を自動実行メニュー上で編集する（コマンドの追記）

コマンドを開いた状態でメニュー切り替えボタンを押します。切り替わったら[記録]ボタンを押して記録したい操作を実施します。



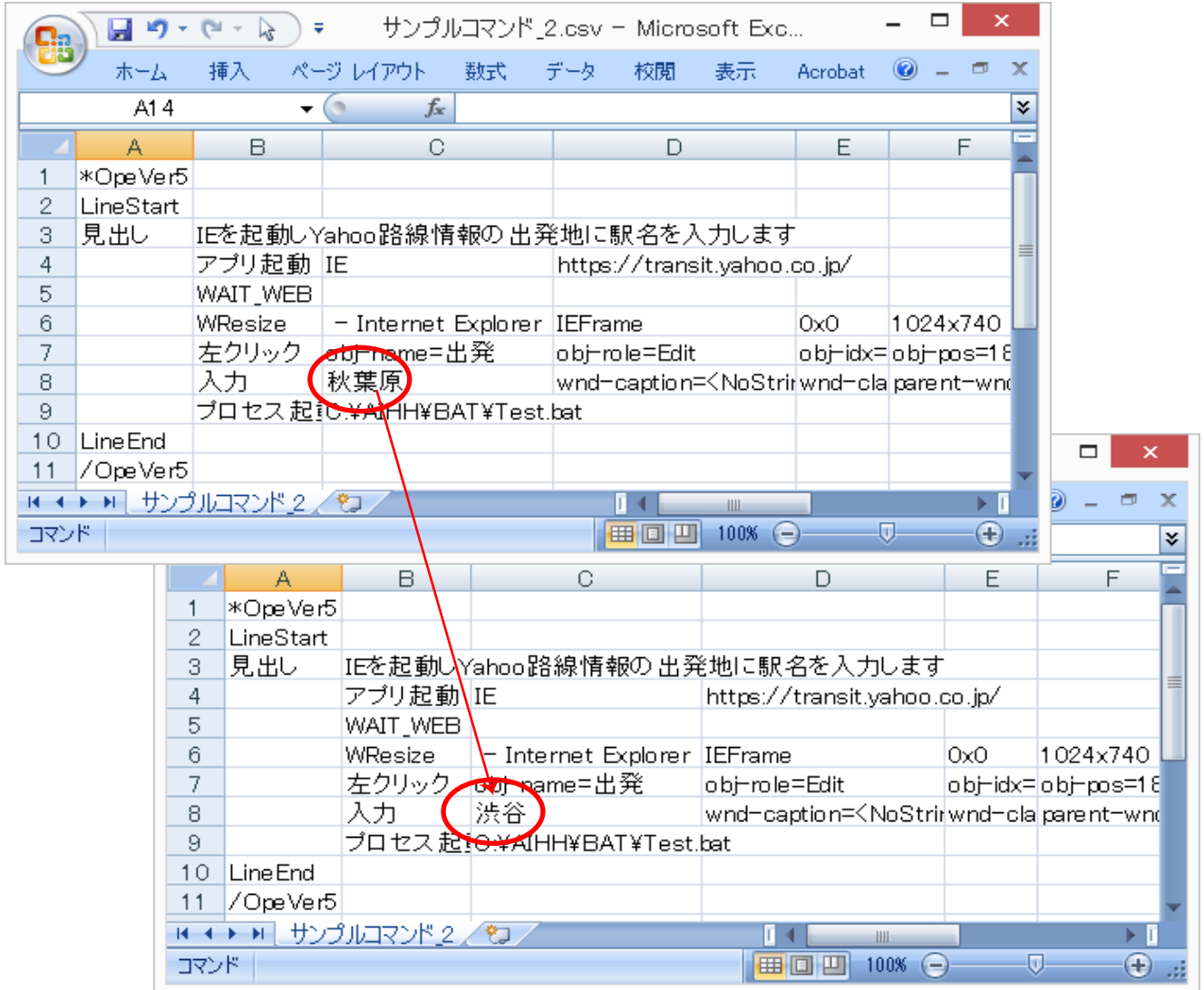
[記録] ボタン

操作がコマンドファイルに記録されますので、上書き保存か別名保存してください。



記録した操作を CSV 上で編集する

記録された操作はコマンドファイルとして保存されます。コマンドファイルの形式は csv です。メモ帳やエクセルで開くことができます。コマンドファイルの中身を編集することで、自動で行う操作の修正が可能です。



コマンドファイル内、出発駅として設定されていた秋葉原を渋谷に変えました。これで次からは渋谷駅を出発駅に変更します。

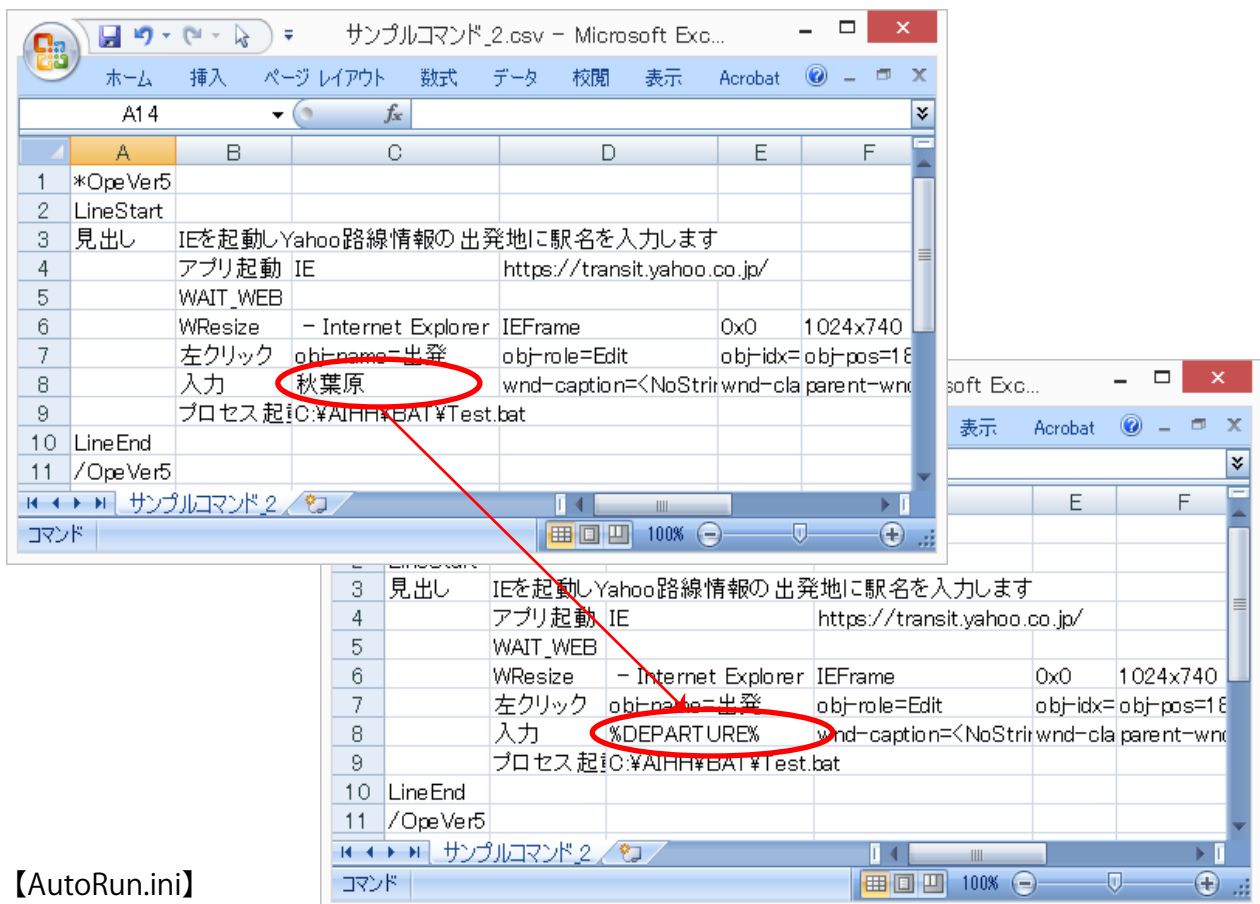
ファイル形式は CSV のため自動操作記録を介せずに、直接コマンドファイルを編集し、作成することも可能です。コマンドの詳細な書式については「AI Humming Heads マニュアル」の「4.2 コマンドリファレンス」でご確認下さい。

変数を使用する

変数を利用する場合、【コマンドファイル】と【AutoRun.ini】ファイルを以下の通り、編集し、実行します。

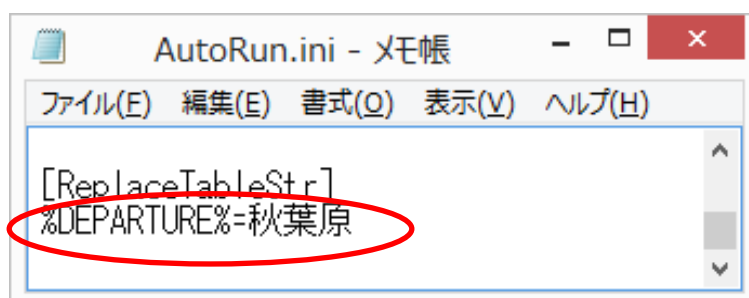
【コマンドファイル】

Yahoo 交通費検索ページの出発地を入力するコマンドを「秋葉原」から「%DEPARTURE%」に変更します。「%DEPARTURE%」を変数とします。



【AutoRun.ini】

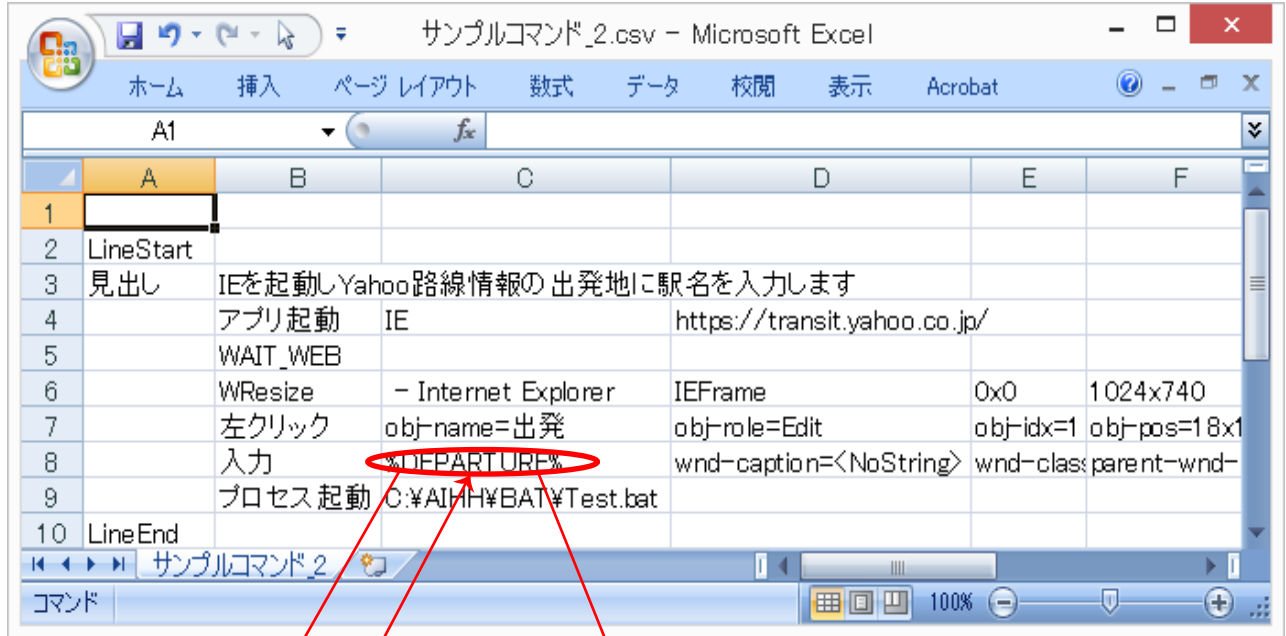
AIHH のインストールフォルダにある AutoRun.ini を開きます。AutoRun.ini の [ReplaceTableStr] セクションに [%DEPARTURE%=秋葉原] と書き込みます。



■変数を利用し実行すると、AutoRun.ini の設定が読み込まれ、置換します。

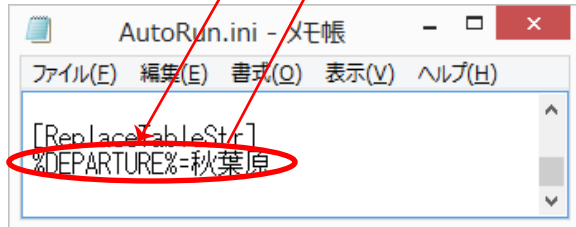
【コマンドファイル】

コマンドファイル読み込み



【AutoRun.ini】

AIHHがAutoRun.iniの設定を読み込んで「%DEPARTURE%」が「秋葉原」に置換



8行目:
「秋葉原」を入力

画像認識で待機やマウス操作をする

画像認識で待機やマウス操作を指定できるコマンドです。

IMG_WAIT・・・指定した画像ファイルと一致する部分を画面上から検索し、検索を終えるまで待機します。

IMG_MOUSE・・・指定した画像ファイルと一致する部分を画面上から検索し、画像中央の座標に対してマウス操作を行います。


コマンド書式


,IMG_WAIT,< 画像ファイルのパス >,< 待機時間 : 秒 > ,

,IMG_MOUSE,< 画像ファイルのパス >,< 待機時間 : 秒 >,< マウス操作 > ,

コマンド : ,IMG_MOUSE,C:\AIHH\blue.bmp,10,LClick サンプル

Blue.bmp





Blue.bmpを画像として指定した場合、まったく同じ画像が表示されると中心を左クリックする。

IMG_WAITやIMG_MOUSEを使用するには画像の指定が必要です。コマンドの作成に必要な画像は下記のWindows標準アプリケーションでも簡単に取得できます。

Snipping Tool・・・Windows標準アプリケーション。PC画面の全体、または一部をキャプチャして保存できます。

ペイント・・・Windows標準アプリケーション。PrintScreenで画像を保存後、ペイントにペーストして編集できます。

外部プログラムで AIHH を呼び出す

AIHH は外部のプログラム (バッチ、VB、C などあらゆるプログラム) から呼び出して実行することができます。

構文

"AIHH インストールフォルダ\CommandViewer.exe" -オプションパラメータ

オプションパラメータの前に半角スペースとハイフンが必要です。指定するオプションパラメータは次の表の通りです。

パラメータ	機能
a	自動実行ツール起動後、読み込んだコマンドファイルを先頭から実行します。
t	半角スペースを空け、コマンドファイルパスを指定します。
o	実行結果ファイルを上書きします。指定は省略できます。
x	コマンドファイルの実行終了後、CommandViewer.exe を終了します。指定は省略できます。

コマンドプロンプトから起動した際のサンプルです。「test_command.csv」をコマンドプロンプト で実行します。

```
"C:\Program Files\HummingHeads\AIHummingHeads\CommandViewer.exe" -a -t "C:\AIHummingHeads\command\test_command.csv"
```



外部のプログラムから呼び出し時に終了コードが返されます。操作の結果によって、外部プログラムで分岐処理などが可能です。終了コードの番号と内容は下記の通りです。

終了コード	内容
0	成功
2	一部警告あり (実行自体は成功だが、予期せぬパネルやCPUが異常に高いなど警告があった場合)
3	失敗 (途中で操作が失敗した場合)
8	手動停止 (途中で操作を停止した場合)

便利なコマンド一覧①

①アプリ起動 コマンド

指定したアプリケーションを起動します。開きたいファイルのパスやURLを指定できます。

②WAIT_WEB コマンド

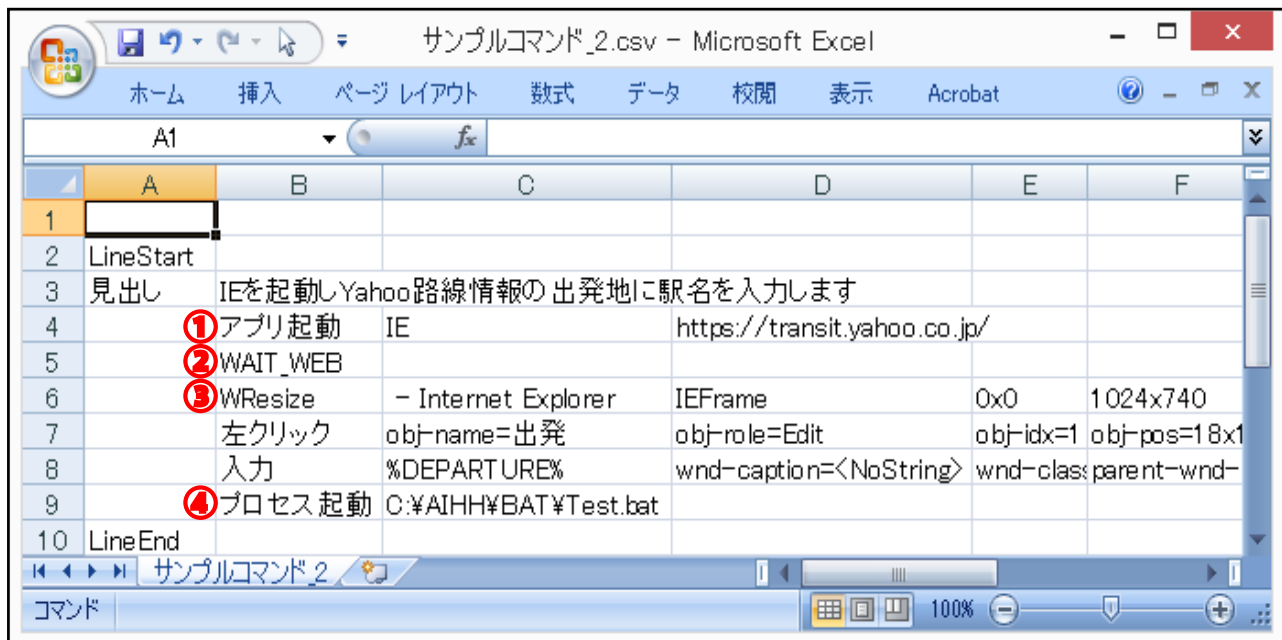
ブラウザの読み込みを待機します。画面が表示されるまで待てるので精度の高いコマンド作成が可能です。

③WResize コマンド

ウィンドウの位置やサイズを変更します。画面サイズを指定したり、ウィンドウをアクティブにしたい場合などに利用できます。

④プロセス起動 コマンド

任意のアプリケーションの起動またはバッチファイルの実行を行います。



便利なコマンド一覧②

⑤UIA_TOGGLEコマンド

トグルスイッチのON/OFF 状態の判定や変更を行います。チェックボックスのオン/オフを指定できます。

⑥SCREEN_SHOT コマンド

画面のハードコピーを取得し、画像ファイルとして出力します。キャプチャを保存できるためエビデンスを残せます。

⑦Restart コマンド

OS または自動実行ツールの再起動を行います。再起動後もログインし、引き続き次のコマンドを実行することが可能です。

※コマンドの詳細は「AI Humming Headsマニュアル」の「4.2 コマンドリファレンス」をご確認ください

	A	B	C	D	E	F
1	*OpeVer5					
2	LineStart					
3	見出し	マウスポインターの軌跡を表示するを選択する				
4		左クリック	obj-name=ポインター オプション	obj-role=TabItem	obj-idx=1	obj-po
5		⑤ UIA_TOGLE	マウスのプロパティ	#32770	ポインター-Check	
6		左クリック	obj-name=OK	obj-role=Button	obj-idx=1	obj-po
7						
8		⑥ SCREEN_SHOT				
9	見出し	閉じる				
10		待機	parent-wnd-caption=設定	parent-wnd-class	timeout=0	
11		左クリック	obj-name=設定 を閉じる	obj-role=Button	obj-idx=1	obj-po
12						
13	見出し	再起動				
14		⑦ Restart	user=TestUser password=Passw	#NAME?		
15						
16	LineEnd					
17	/OpeVer5					

AIHH の設定を変更する

[設定] ボタンから詳細な設定を変更することができます。



[設定] ボタン

コマンドファイルや実行結果、キャプチャー画像の保存先を変更したり、AIHH 実行時のマウス操作やキーボード操作をロックしたりなどできます。

